



めざめよ！ごみ分別都市。

# WAKE UP!!

ワケアップ！仙台

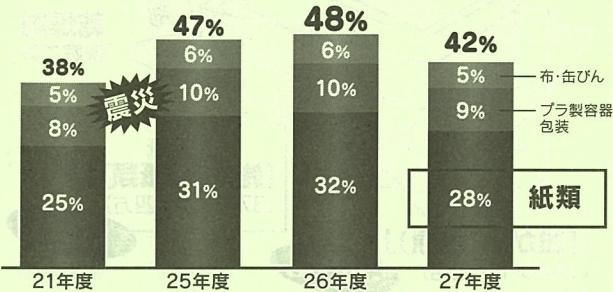
## 杜の都・仙台＝ごみ分別都市。

「家庭ごみ」は、資源に再生できるもの（＝資源物）を分別した後に、残ったものだけを出すことが基本です。ところが仙台市では震災後、家庭ごみの中に混ざっている資源物の割合が増えています。

そこで仙台市では、ごみ分別意識を呼び覚ますため「目覚めよ！」と「分別向上」の2つの意味を込めた「WAKE UP(ワケアップ)!!仙台」を合言葉に、仙台市民のみなさんとともにごみの減量・リサイクルに取り組んでいくことにしました。

杜の都・仙台の美しい環境を未来につなげるため、「ごみ分別都市」としての新たなステージを目指しましょう。

### 「家庭ごみ」に含まれる資源物の割合



## 1人1日あたりの家庭ごみ排出量は450g以下が目標！

この目標を達成するため、仙台市では“2つの視点”で、取り組みを進めていきます。

### 視点1

#### 紙類分別の促進！

仙台市では、おなじみの新聞・雑誌・段ボールの他、「紙パック」「雑がみ」も回収していること、ご存知でしたか？ 「雑がみ」は、お菓子や食品の紙箱、ティッシュの空き箱、ダイレクトメールや封筒、カレンダーやラップの芯など、雑多な紙類のこと。

「紙パック」1枚を分別すると約30g、ティッシュボックス1箱で約40gの減量につながります。

ひとつひとつは小さな積み重ねですが、焼却している家庭ごみの約30%を占める「紙類」をきちんと分別するだけで、全体で約5万tのごみが減らせます。

紙類は地域の集団資源回収や市民センターなどに設置している資源回収庫の他、月2回決められた曜日に、ごみ集積所に出してください。



### 視点2

#### 若者と一緒に！

若者ならではの視点と情報発信力で、ごみのことを考える学生プロジェクトが「WAKE UP CAMPUS(ワケアップキャンパス)」です。

若者同士のつながりはもちろん、地域の中で活動している町内会や事業者の方々とも積極的に交流し、ごみについての様々な情報を、プロジェクトのメンバーが運営するFacebookや市政だよりなどで紹介していきます。分別のベテランも初心者も、きっと新たな発見があるはずです。

ごみの分別に迷ったら…

スマートフォン用ごみ分別アプリ

**さんあ～る**

(6月～)

仙台版が始まります！

収集日の通知や分別検索など便利な機能満載！

「さんあ～る」で検索、または

右記からダウンロードしてください。

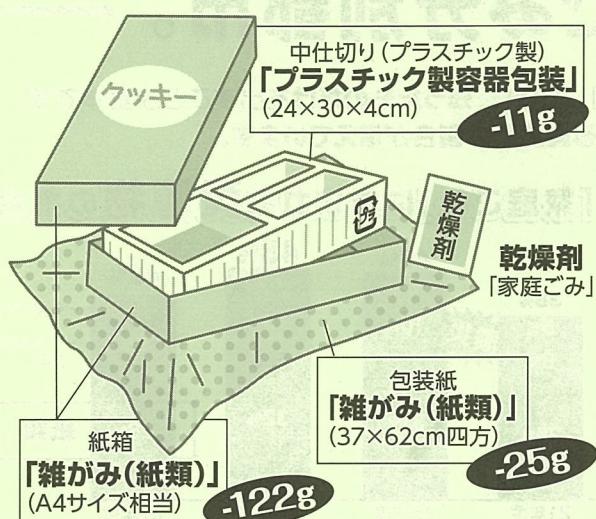


「1人1日あたりの家庭ごみ排出量450g以下」の目標を達成するためには、**1人1日  
あたり 26g** の減量が必要です。※

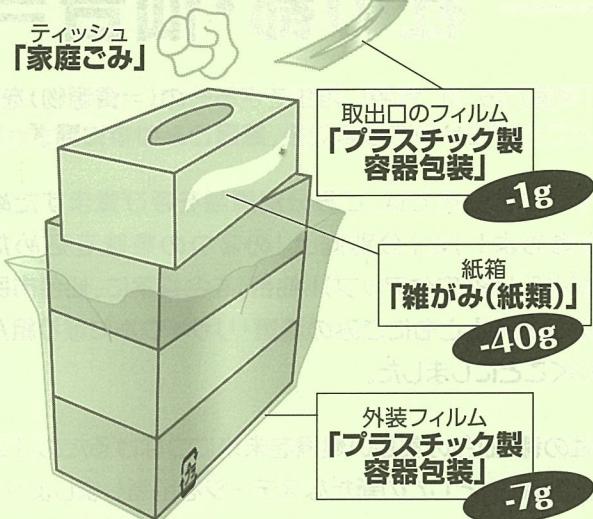
# そこで 資源とごみの分け方をおさらいしましょう！

※平成27年度実績476g/人・日

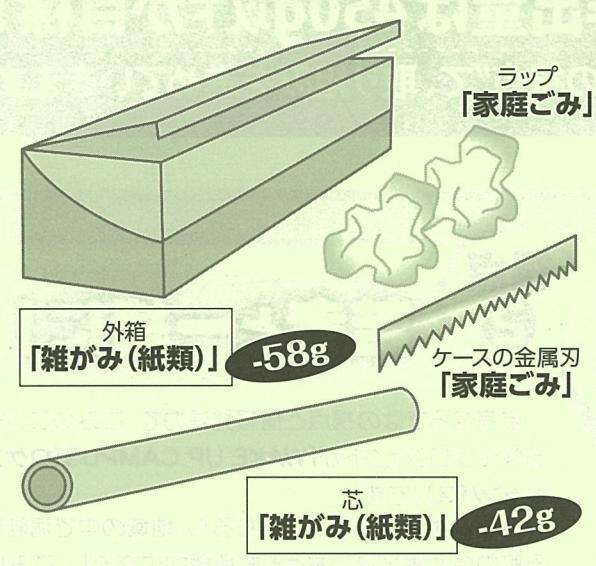
## 菓子箱



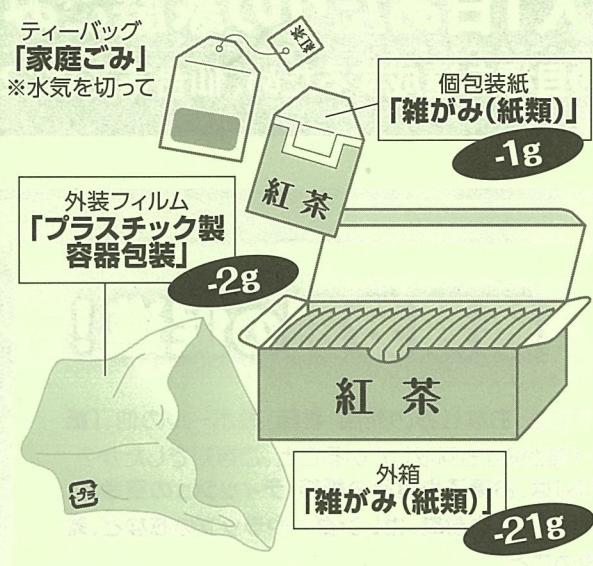
## ティッシュボックス



## ラップ



## ティーバッグ



## ●分別のポイント●



プラスチック製容器包装は、マークが目印です。  
雑がみは、汚れ・においがあるもの以外はほぼOK！  
紙袋を用意してポンポン入れておくと回収に出す時に便利ですよ。（紙袋は十文字にしばって出してください。）

資源とごみの分け方・出し方の詳細は、**仙台市ホームページ**  
**仙台市ホームページ**または  
**「ワケルネット」**をご覧ください。

<http://www.city.sendai.jp/>  
<http://www.gomi100.com/>

お問い合わせ先／仙台市環境局ごみ減量推進課 電話／214-8229, 214-8230

